

図書館催し物予定（5/15～6/15）

幼...幼児向け 小...小学生向け

中央図書館	第一図書館	第二図書館	第三図書館	第四図書館	iプラザ図書館
稲城市向陽台4-6-18 TEL:042-378-7111 FAX:042-378-7162	稲城市東長沼2111 TEL:042-377-2123 FAX:042-378-9612	稲城市矢野口1780 TEL:042-377-1866 FAX:042-377-1866	稲城市平尾1-20-5 TEL:042-331-1439 FAX:042-331-1439	稲城市東長沼271 TEL:042-378-2401 FAX:042-378-2401	稲城市若葉台2-5-2 TEL:042-331-1731 FAX:042-331-1716
開館時間／9:00～20:00	開館時間／10:00～17:00				開館時間 9:00～20:00

5・6月に開催を予定している行事・イベントは全て中止いたします。

展示予定（5/24 まで）

- ・特集コーナー
新生活応援フェア
「今でしょ！図書館から始めよう」
- ・インナーコリドー
「文学で旅する海外」特集
- ・児童室
「大きい・小さい」とくしゅう
- ・AV架
「スタッフおすすめ」特集（CD）

● 5月、6月の休館日 ●

中央図書館 : 毎月第4月曜日 5月: 25・26・27・28
6月: 22

第一、第三図書館 : 毎週月曜日・祝日 5月: 3・4・5・6・11・18・25
6月: 1・2・3・4・5・8・15・22・29

第二、第四図書館 : 毎週月曜日・祝日 5月: 3・4・5・6・11・18・25
6月: 1・8・15・16・17・18・19・22・29

iプラザ図書館 : 毎月第2・第4月曜日 5月: 11・25
6月: 8・9・10・11・22

※中央図書館・iプラザ図書館の特別整理期間は変更になる場合があります。
※中央図書館・iプラザ図書館ともに、月曜日が祝日の場合は翌火曜日を休館日といたします。
※各図書館の休館日は、おはなし会もお休みとなります。

おまけのクロスワード (初級編)

A・B・Cのマスに入る文字を順番に並べてできる言葉はなんでしょう？

ヒント：大きな声で言ってみよう！元気がでるかも！？「○○○だー！！」

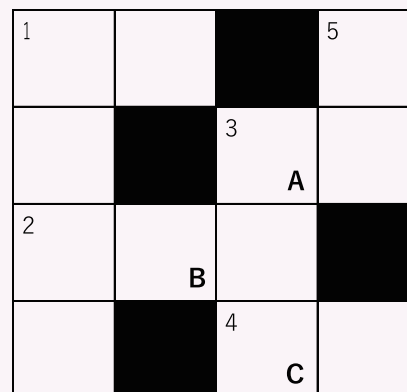
回答は次号（6/15号）で発表します。

タテのカギ

1. 「はちべえ」、「はかせ」、「モーちゃん」といえば「○○○○○三人組」
3. 「好き」の反対の意味の言葉は？
5. ゲゲゲの鬼太郎もはいている、伝統的なはきものといえば？

ヨコのカギ

1. 動物園を英語でいうと？
2. 絵本で人気の「ペネロペ」はどんな動物のキャラクター？
3. 「東西南〇」、〇に入る方角は？
4. 昔ばなし「ももたろう」のおともといえばサル、キジ、〇〇。



編集
後記

今号では図書館のお仕事紹介として「レファレンスサービス」のご案内をさせていただきました。今後も貸出や返却だけではなく図書館の様々なサービスをご紹介したいと思います。図書館のイベント・行事の案内にとどまらず、様々な情報を発信していきます。ぜひ図書館報「ひばり」にご注目ください。

- ▶ 音声版「ひばり」は、図書館ホームページのメニュー「図書館だより」からご利用になれます。
- ▶ 音声版「ひばり」CDをご希望の方は、中央図書館にご連絡ください。

ひばりと
合わせて
ご覧ください！



稲城市立図書館 HP



Twitter



Facebook

いなぎ図書館だより



ひばり

第167号

令和2年5月15日

稲城市立図書館

<http://www.library.inagi.tokyo.jp/>



稲城市立図書館のホームページを、ご活用ください！

今後も皆様にわかりやすくご利用いただけるホームページを目指し、図書館情報を発信して参りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

（※図書館ホームページの画像は2019年11月のものです）



図書館ホームページご利用方法
についてのマニュアルは、
こちらからダウンロード。

● 資料の検索
● 資料の予約
● 貸出期間の延長
● 利用状況の確認

図書館からの「お知らせ」、「イベント情報」が閲覧しやすいデザインになりました。

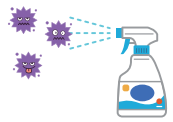
稲城市立図書館
公式Twitter・Facebookはこちらから。

URL <https://www.library.inagi.tokyo.jp/>

新型コロナウイルス感染症の対応について

新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言の発出を受け、掲載している図書館行事の日程や内容を変更する場合がございます。随時、市立図書館ホームページでお知らせしておりますので、そちらもご参照ください。ご理解とご協力をお願いいたします。

稲城市立図書館ホームページ <http://www.library.inagi.tokyo.jp/>



その他、Twitter、Facebookでも情報を配信しております。※「編集後記」下部にQRコード掲載

問合せ：中央図書館 042-378-7111



中央図書館定例行事中止のお知らせ

新型コロナウイルスの影響により6月開催予定の定例行事を中止いたします。

一般映画会（偶数月） 【中止】6月6日（土）・6月24日（水）

6月6日（土）・24日（水）に予定していた一般映画会は中止とさせていただきます。

次回は8月1日（土）・26日（水）に開催する予定です。

*今年度より一般映画会は「第一土曜日」と「第四水曜日」の月2回同作品の上映に変わりました。

英語多読サークル「いなぎ多読らぶ」 【中止】6月13日（土）

6月13日（土）の「いなぎ多読らぶ」は中止とさせていただきます。

次回は7月11日（土）に開催する予定です。

*今年度より「いなぎ多読らぶ」は毎月第二土曜日の開催に変わりました。

今回の映画会・「いなぎ多読らぶ」の詳細は

あらためて図書館報「ひばり」、図書館ホームページでご案内いたします。



問い合わせ 中央図書館 TEL：042-378-7111

「nakanohito」

第2弾

新コーナー「nakanohito」第2弾です。このコーナーでは私たち図書館の“中の人（ナカノヒト）”がオススメの本の紹介やコラム、エッセイをお届けします。

今日で紹介するのは「ズッコケ三人組」です。那須正幹先生による児童文学の傑作で、1978年の第一作「それいけズッコケ三人組」から2004年の最終巻「ズッコケ三人組の卒業式」まで全50作のシリーズ作品です。

主人公のハチベエ・ハカセ・モーちゃんは小学六年生で仲良しの三人組です。物語は運動会や文化祭、修学旅行などの学校行事で大活躍する話から、タイムスリップ、宇宙人との遭遇、怪盗との対決などSFやミステリー要素の強い作品まで様々です。一話完結の物語なのでどの巻から読んでも楽しめます。（もちろん大人でも）



私が夢中になっていた当時はまだ完結しておらず、小学校から中学校へと環境が変わるなかで、いつの間にか読まなくなっていました。

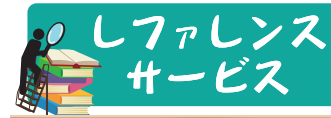
時は流れて図書館で仕事をするようになった私は、返却されて戻ってきた「ズッコケ三人組」を見て、こみ上げる懐かしさを抑えられませんでした。そして感じた「シリーズは今も続いているのか」という疑問。こうして私は「ズッコケ三人組の卒業式」と出会いました。

本の内容について多くを語るのはやめましょう。この本を読んで感じたのは自分が小学生だった頃を思う懐かしさと、自分はもう大人になってしまったのだというほんの少しの寂しさでした。

皆様も子どものころに読んだ思い出の絵本や物語を読み返してみてもいかがでしょうか？

新しい出会いや発見があるかもしれませんよ。

図書館のお仕事紹介



学習・研究・調査等のために必要な資料および情報を求めた場合に図書館員が図書館の資料と機能を利用して援助、資料の提供、あるいは回答を与えるなど利用者と資料を結びつける業務のことを言います。

質問①

『中央図書館がある城山公園には大丸城というお城があったというのは本当ですか？』

Q

回答

大丸城跡（多摩ニュータウン No.513 遺跡）

大丸城は南多摩駅の南300mほどの場所にありました。（図書館からは北東の方角100mくらい）現在は住宅地となっていますが、大丸城跡に関する案内板が建っており、その歴史を今も私たちに伝えてくれます。

大丸城は南北朝時代から戦国時代頃（14～15世紀頃）に使われていた見張り台程度の小規模な山城でした。

多摩ニュータウン造成時の発掘調査により武蔵国分寺や国府とも関係の深い瓦窯跡が発見され、奈良時代には瓦の一大産地であったことも分かっています。

残念ながら現在図書館がある城山公園に大丸城はありませんでした。

城山公園は散策にもってこいの公園でコースの目印に「一の丸」、「二の丸」といった案内がされているので勘違いされる方が多いようです。



A

参考文献

『多摩丘陵の古城址』（田中祥彦／著） 『日本城郭大系 第5巻』（新人物往来社）
『福城のあゆみ 改訂版』（福城市教育委員会生涯学習課／編）
『文化財ノート 合冊版』（福城市教育委員会教育部生涯学習課／編）
『多摩ニュータウン遺跡 東京都埋蔵文化財センター調査報告第8集』（東京都埋蔵文化財センター／編）

質問②

最近SNSで話題の妖怪「アマビエ」とは何ですか？

Q

回答

アマビエ（あま彦・天彦・天日子）とは病気や豊凶の予言をし、その給姿を持っていれば難から逃れられるという妖怪です。

熊本県には次のような逸話が残っています。江戸時代、海中に毎夜光るものがあるので、ある役人が行ってみたところ、アマビエという妖怪が現れて「当年より6ヶ月は豊作となるが、もし流行病が流行したら人々に私の写しを見せるように、そうすれば難を逃れられる」と言い残して、再び海中に没したといわれています。

役人は髪が長く、くちばしを持った人魚のようなアマビエの姿を描き、瓦版にしたそうです。似たお話しは全国各地にあるようで明治15年頃、コレラが流行した時にも「アマビエ」の描かれた刷り物が大量に配布されたといわれています。

今回SNSで「アマビエ」が広まったのは水木プロダクションの方が新型コロナウイルスの終息を願いツイッターに投稿したのがはじまりのようです。



A

参考文献

『日本妖怪大事典』（村上健司／編著、水木しげる／画） 『日本の幻獣図譜』（湯本豪一／著）
『給でみる江戸の妖怪図巻』（善養寺ススム／文・絵）
『地図とあらすじで読む日本の妖怪伝説』（志村有弘／監修）
『妖怪ビジュアル大図鑑』（水木しげる／著）